

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	だんけ石切		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 1日		～ R7年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自由活動とことば音楽療法のレッスンがあること。	曜日固定ではあるが、どちらも希望の形が選択できるようにしている。レッスンでは個別とグループの活動があり、目的に応じてすすめている。同じ音楽療法でも、個別のニーズや特性、環境に合わせて課題や取り組み方を柔軟に変えている。	自由活動に取り入れると、いろんな特性、年齢の子どもたちが一体になって参加できるので、もう少し回数を増やしたい。
2	立地条件	建物の2階だけでなく、1階のスペースも遊びに使えるので、子どもたちが体を動かして遊ぶことが容易にできる。狭くて騒がしい雰囲気や苦手な子どもでも、場所を変えたり、距離を置くことができる。	長期休暇など時間がある時には、近所の公園や地域に散歩に出かける機会を増やす。
3	設定を設けない	平日の自由活動は、時間が短いこともあり、活動を設定していない。そのため、自分が何をして過ごすのかは自分で決めてもらっている。それが、自宅などでの余暇の過ごし方につながるよう考えている。	自己決定が難しい人もいるので、職員からその子どもに合うものを提案する。活動時間が長い時には、散歩、クッキング、音楽あそびなどを設定することで、過ごし方のヒントになるものを提供していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	階段があり、バリアフリーでない。	元々の建物の特性。	2階から1階など場所を変える時には、職員が付き添うのですが、定着できていない子どもがいるので、声かけ、視覚支援などで伝えていく。
2	地域との関わりが少ない。	どのように関わりを持つか検討できていない。検討する時間がない。	だんけ祭り以外にも、子どもたちに有効な活動を見出した。他事業所の実践なども参考にする。
3	職員の年齢構成に偏りがある。	学生、30代、40代の人員を確保するのが難しい。学生の世代のつながりが少ない。30代、40代に関しては子育て世代なので、放課後の勤務が難しい。	つながるように常に発信をしていく。